

徹明

第44号
 令和8年3月15日 発行
 徹明公民館
 徹明自治会連合会
 徹明まちづくり協議会
 社会福祉協議会徹明支部
 岐阜市徹明公民館 ホームページアドレス
<http://www.ccnaitaire.jp/~tetsumei>
 人口 5,177名
 世帯 2,836戸
 令和8年1月1日現在

『新しい公民館と伝統との調和』

徹明公民館 館長 國井諭

地球の温暖化に伴い、台風・地震など自然災害が、日本に発生しましたが、幸いにも本年度の徹明地域の行事は、例年どおり「ありがとう」の言葉で終われますことは、役員の皆様方の熱意と努力の成果であると確信しております。

特に、今年の「二十歳のつどい」については、木之本自治会連合会松波会長・徹明自治会連合会野口会長が「合同で行う」との英断によりまして、徹明さくら小学校の初めての卒業生及びその親族の方々に出席を賜り徹明公民館で、厳粛の中にも喜びに溢れて行われました。

次に「文化祭」については、例年のとおり実行委員会方式を採用し、公民館運営委員の皆様（実行委員）に快諾と協力を得て、出展者・出演者の募集から始まり、必要な物品の購入・点検・設営・作品の搬入等多岐に渡りましたが、準備が着々と進み、当日を迎えました。その出展者は徹明さくら小学校・本荘中学校・草潤中学校・クラーク高校・徹明地域の各種団体の皆様・サークル・クラブ活動の皆様・個人と多くの方々であり、その優れた作品が展示されました。また出演者については、今回初めてクラーク高校の演奏も加わり、日頃の努力・成果の場を提供できました。この文化祭の受付・司会・音響・進行等の全てが自前ででき、今年初めて草潤中学校生徒がロワールさん指導のもとクッキーを手作りし、販売をしました。柴橋市長が出席され、あいさつの中で、徹明地域は中心部に位置し、活性化施策の重要な拠点であることを具体的に熱く語られました。

この公民館は、その中心にあり、幼児から高齢者、障がいのある方を含めて全ての人に優しく、冷暖房、ソーラーシステムを完備した平屋建てであり、災害に強く、安心安全な避難所であり、多くの人々が目的を持って集り、語り合う場でもあります。今後とも徹明の伝統を守りながら未来（SDGs）を展望しながら進めてまいりたいと思います。

二十歳のつどい



二十歳のつどい挨拶 山本陽生

本日は、私たち新成人のために、このような晴れやかな盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。
 この日は、心より御礼申し上げます。
 そしてこれまで私たちを導きまわってくださったすべての方々に、心より御礼申し上げます。
 私たちが今日こうして成人の日を迎えることができたのは、決して自分たちの力だけでありません。

9年前、私たちが小学校六年生の時、木之本小学校と徹明小学校が統合し、私たちは、徹明さくら小学校の一期生となりました。
 仲間が増える嬉しさに、胸が高鳴ったのを今でも思い出します。
 学校の伝統そのものを、仲間や先生方と一緒に一から作りあげてきたことを、今、改めて誇りに感じています。

中学校三年生では、「コロナ」により当たり前の日常が奪われ、修学旅行も行けず、不安の中で高校受験を迎えました。
 中学、高校は、皆さんが思うような青春ではなかったかもしれませんが、仲間と共に私たちが誇りの青春を精一杯過ごしてきました。仲間と切磋琢磨し過ごした日々が、今日の私たちをつくっています。

今日から成人ですと、急に立派な大人にはなれませんが、今日この場に集った仲間と、これまで支えてくれた人々への感謝を胸に、責任ある大人として、一歩一歩、誠実に歩んでいきたいと思えます。

私たちはまだ未熟ではありますが、社会の一員としての自覚を持ち、誰かの痛みに寄り添い、共に手を取れ合う新しい時代を作っていくと信じ、努力を続けていくことを、ここに誓います。
 最後に分りますが、これまで私たちが温かく見守り、育ってくれたすべての皆様へ、心より感謝申し上げます。

そして、それぞれの場所で、自分らしい花を咲かせることを誓い、新成人代表としての挨拶とさせていただきます。
 本日は本当にありがとうございました。